

# 平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	7 章 人々がふれあう温かいまち（コミュニティ活動の推進）			
	施策（大柱）	5 節 国際化社会	H20 実施計画事業費合計	7,090 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	2 国際性をはぐむ環境づくりの推進		2,967 千円	
		3 国際交流活動の促進		3,529 千円	
				千円	
			千円		
施策に關係する所属	コミュニティ推進課、社会教育課				

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国籍市民と地域住民の相互理解を深め、互いに暮らしやすいまちづくりを勧める。</li> <li>○市民の国際性をはぐむ環境づくりを進める。</li> <li>○市民レベルの姉妹都市交流を進める。</li> <li>○国際社会の一員として平和的貢献に取り組む。</li> </ul>											
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国籍市民にも暮らしやすいまちづくりの推進 公共施設表示や交通案内標識等の国際共通図案化、外国語による行政情報の提供、日本語学習支援や相談業務の充実に取り組み</li> <li>○国際性をはぐむ環境づくりの推進 国際交流団体との提携を通じた交流の場の設定をはじめ、国際理解教育や帰国児童・生徒の受け入れ体制を充実する。また、「所沢市平和都市宣言」の趣旨に基づき、平和に対する市民意識の高揚につとめる。</li> <li>○国際交流活動の促進 姉妹都市等との交流を進める。</li> </ul>											
	3) 分野別計画、指針												
	4) 関連・類似施策												
	5) 施策に対する市民ニーズ	<table border="1"> <tr> <th>要望者数</th> <th>要望率</th> <th>全施策中順位</th> <th>分野中順位</th> </tr> <tr> <td>81 人</td> <td>9.7 %</td> <td>42 位</td> <td>5 位</td> </tr> <tr> <td>831 人</td> <td></td> <td>43 位</td> <td>5 位</td> </tr> </table>	要望者数	要望率	全施策中順位	分野中順位	81 人	9.7 %	42 位	5 位	831 人		43 位
要望者数	要望率	全施策中順位	分野中順位										
81 人	9.7 %	42 位	5 位										
831 人		43 位	5 位										

③ 優先的に取り組む事業	6) 施策に係る基礎数値				
	項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	市内外国人登録者	人	3,755	3,865	4,093
	国際交流ボランティア登録人数	人	31	58	61
	国際交流ボランティアの活動回数	回	2	7	12
姉妹都市との交流回数（派遣・受け入れ）	回	8	18	13	
姉妹都市との交流人数（派遣・受け入れ）	人	74	176	129	

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標

※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。

④ 5年後の目標／成果指標	指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標	
	【5年後の目標】ボランティアによる日本語教室に参加している外国籍市民の数	外国籍市民との交流実績を示す指標（延べ人数）	人	年度	目標値	1,273	1,293	1,312	1,331	1,350	年度
				実績値	1,127	949				目標値	
				%	達成率	88.5%	73.4%				1,350
				年度	目標値						年度
				%	達成率						目標値
				年度	目標値						年度
				%	達成率						目標値
				年度	目標値						年度
				%	達成率						目標値

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み	<p>姉妹都市学生交流事業においては、米国ディケーター市への派遣学生については、ディケーターの姉妹都市委員会からの要請として、1日でも多いホームステイの希望があることから、往路でのシカゴ泊を取りやめた。結果的には経費削減にもつながった。</p>
--	--

⑥ 評価（課題及び目標）	1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
	外国籍市民との共生社会を目指すためには、生活様式や文化・教育・宗教などの違いを相互理解する機会が必要であることから、国際交流フォーラムの開催について、対象・企画・開催方法等を継続的に見直ししていく。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	ボランティア登録という点での生涯学習センターの人材バンクとの統合は困難であったが、連携を密にすることにより、外国籍市民の生活支援について、さらなる充実を図る。支援依頼からボランティア派遣までが、保険等の手続きのため時間がかかりすぎることで大きな課題であり、改善されなければ実績値の増は望めないことから、19年度については、保険を見直し、依頼があればすぐに対応できるようにした。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	姉妹都市学生交流事業については、応募人数の減少が課題であったので、昨年に引き続き市内高校へPRをすると共に、今年度は市内中学校にも周知を行った。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
		<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

⑦ 今後の方向性	2) 平成20年度における目標設定	<table border="1"> <tr> <th>今期目標項目(何を)</th> <th>達成水準(どこまで)</th> <th>時期(いつまで)</th> </tr> <tr> <td>・安養市姉妹都市締結10周年記念事業 本年安養市と姉妹都市を締結して10周年を迎えることから、安養市からの訪問団を迎え記念式典を行う。</td> <td>7月末までに企画(案)、8月末までに出席者決定、案内状の送付、10月12日記念式典実施。</td> <td>達成水準に合わせて明示</td> </tr> </table>	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	・安養市姉妹都市締結10周年記念事業 本年安養市と姉妹都市を締結して10周年を迎えることから、安養市からの訪問団を迎え記念式典を行う。	7月末までに企画(案)、8月末までに出席者決定、案内状の送付、10月12日記念式典実施。	達成水準に合わせて明示
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)					
・安養市姉妹都市締結10周年記念事業 本年安養市と姉妹都市を締結して10周年を迎えることから、安養市からの訪問団を迎え記念式典を行う。	7月末までに企画(案)、8月末までに出席者決定、案内状の送付、10月12日記念式典実施。	達成水準に合わせて明示						
3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）								

国際化の進展により、外国籍市民は年々増加しており、また、共生社会の推進の必要性は一層高まるものと考えられる。特に、市の施策においては、外国籍市民の生活に直結する分野も多く、各分野の事業を推進する上でも、全庁的に、国際化の視点は欠かせない。また、近年、外国籍市民の日常生活に伴う通訳については、医療機関など専門的な部門で長時間にわたり通訳を拘束するケースも増えてきており、今後、「外国籍市民にも暮らしやすいまちづくりの推進」、「市民の国際性をはぐむ環境づくり」を進めるためには、従来の通訳ボランティアの派遣と併せ、外国語での窓口対応等の情報の収集・提供による市民を巻き込んだ支援の拡大が必要である。

評価日	平成20年8月5日	記入者職氏名	市民経済部 次長 関 久夫
-----	-----------	--------	---------------

# 平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	7 章 人々がふれあう温かいまち（コミュニティ活動の推進）		
	施策（大柱）	5 節 国際化社会	H20 実施計画事業費合計	7,090 千円
	中柱	1 外国籍市民にも暮らしやすいまちづくりの推進		594 千円
		2 国際性をはぐくむ環境づくりの推進		2,967 千円
				千円
施策に関係する所属	コミュニティ推進課、社会教育課			

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国籍市民と地域住民の相互理解を深め、互いに暮らしやすいまちづくりを勧める。</li> <li>○市民の国際性をはぐくむ環境づくりを進める。</li> <li>○市民レベルの姉妹都市交流を進める。</li> <li>○国際社会の一員として平和的貢献に取り組む。</li> </ul>
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国籍市民にも暮らしやすいまちづくりの推進 公共施設表示や交通案内標識等の国際共通図案化、外国語による行政情報の提供、日本語学習支援や相談業務の充実に取り組む</li> <li>○国際性をはぐくむ環境づくりの推進 国際交流団体との提携を通じた交流の場の設定をはじめ、国際理解教育や帰国児童・生徒の受け入れ体制を充実する。また、「所沢市平和都市宣言」の趣旨に基づき、平和に対する市民意識の高揚につとめる。</li> <li>○国際交流活動の促進 姉妹都市等との交流を進める。</li> </ul>
	3) 分野別計画、指針

③ 優先的に取り組む事業	4) 関連・類似施策																													
	5) 施策に対する市民ニーズ																													
	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。																													
	6) 施策に係る基礎数値																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>単位</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内外国人登録者</td> <td>人</td> <td>3,755</td> <td>3,865</td> <td>4,093</td> </tr> <tr> <td>国際交流ボランティア登録人数</td> <td>人</td> <td>31</td> <td>58</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>国際交流ボランティアの活動回数</td> <td>回</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>姉妹都市との交流回数（派遣・受け入れ）</td> <td>回</td> <td>8</td> <td>18</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>姉妹都市との交流人数（派遣・受け入れ）</td> <td>人</td> <td>74</td> <td>176</td> <td>129</td> </tr> </tbody> </table>	項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	市内外国人登録者	人	3,755	3,865	4,093	国際交流ボランティア登録人数	人	31	58	61	国際交流ボランティアの活動回数	回	2	7	12	姉妹都市との交流回数（派遣・受け入れ）	回	8	18	13	姉妹都市との交流人数（派遣・受け入れ）	人	74	176
項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度																										
市内外国人登録者	人	3,755	3,865	4,093																										
国際交流ボランティア登録人数	人	31	58	61																										
国際交流ボランティアの活動回数	回	2	7	12																										
姉妹都市との交流回数（派遣・受け入れ）	回	8	18	13																										
姉妹都市との交流人数（派遣・受け入れ）	人	74	176	129																										

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標

※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画－中柱」に位置づけられたものが記入されます。

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標		
④ 5年後の目標／成果指標	【5年後の目標】ボランティアによる日本語教室に参加している外国籍市民の数 外国籍市民との交流実績を示す指標（延べ人数）	人	年度 16	目標値	1,273	1,293	1,312	1,331	1,350	年度 22	
		%	実績値	1,235	実績値	1,127	949	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値 1,350
			達成率	88.5%	73.4%						
			年度	目標値							年度
			実績値	実績値				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み
--

⑥ 評価（課題及び目標方向性）	1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
	外国籍市民と人権尊重の視点をもった交流	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
		<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
		<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
		<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

2) 平成20年度における目標設定	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)

3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国籍市民の増加が見込まれることから、市民と外国籍市民との交流の機会を増やし、相互理解をさらに深めていく必要がある。</li> <li>○外国人のための日本語講習会を充実する。</li> </ul>
評価日 平成20年8月7日 記入者職氏名 教育総務部次長 藤田 晃